

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (沖縄)	◎	一般小売店〔酒〕（店長）	・新型コロナウイルスの新規感染者数が増えない限り、マイナス要因はない。
	◎	観光型ホテル（企画担当）	・ホテルの12月の販売室数は前年比20%減少とマイナスなのに対し、12月末時点での3月の予約室数は同9%増加とプラスに転じている。
	○	商店街（代表者）	・いまだ各業種でばらつきがあり、業種によっては少しだけ良くなる可能性もあるし、微妙に来客数が厳しい状況になる店もあるようなので、一概に良くなるとは言いつらくなっている。
	○	百貨店（経営担当）	・県内では冬物衣料の需要が年明け以降に本格化する。
	○	コンビニ（経営者）	・人の動きが活発になってきており、今の良い傾向が続くと景気は良くなってくるとみている。
	○	コンビニ（店長）	・高校に隣接している立地上、4月の新年度に向けて人の動きが活発になるため、比例して来客数も伸びると考えられる。
	○	コンビニ（副店長）	・2023年よりもクルーズ船寄港回数は増加し、インバウンドについては良くなると期待するも、国内情勢では次年度以降の物価の上昇、もろもろの増税、賃上げ等、厳しい状況からの脱却は余り期待できない。
	○	コンビニ（経営企画担当）	・特に景気に影響するような材料は見当たらないが、1月末の春節時期に、那覇から中国間の国際線の増便によるインバウンド需要は期待している。しかし、春節以降の中国インバウンド需要については期待していないため、その後は現状維持になる見込みである。
	○	その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	・観光客は確実に増えているため、観光客への露出を多くして、観光客の入店比率を大きくしていく。
	○	観光型ホテル（代表取締役）	・年末年始の宿泊部門は悪く、前年の80%ほどである。料飲部門も人材不足が解決できておらず予約を抑えている。2月の宿泊はプロ野球キャンプの影響もあり堅調に入ってきている。料飲部門はまだ先の予約は動いていない。
	○	通信会社（営業担当）	・学生の需要が出る3月は、1年を通しての最も大きな繁忙期となるため現在の好調を保っていけば大きく期待ができる。
	○	住宅販売会社（役員）	・給与所得の上昇次第だが、今のところ低金利が継続しているため、住宅販売も期待できるとみられる。
	□	スーパー（企画担当）	・2～3か月先は、春休みなどにより入域観光客数が増加し、人流が活発化すると予想されるが、商品値上げも続かなかで節約志向も強まると考えると、景気は変わらないとみられる。
	□	衣料品専門店（経営者）	・今月は年末の書き入れ時ということで季節物の売上を期待していたが、前半の季節外れの高温等があり売上が取れない状態である。景気はまだ良くなる気配はみえていない。
	□	家電量販店（営業担当）	・需要拡大につながるような大きなイベントやヒット商品などが不足している。
	□	乗用車販売店（経理担当）	・大手自動車メーカーの不正問題の影響があるかもしれないが、未知数である。
	□	その他専門店〔陶器〕（製造）	・通常は年明けの観光客の減少とともに陶器の売上は減るが、コロナ禍と比べれば観光客が増えているため、注文数などは変わらないのではないかと予想している。
	□	旅行代理店（マネージャー）	・とにかく旅行商材の単価が高騰しているため、一般予約が低調気味で推移する。
	□	その他サービス〔レンタカー〕（営業）	・先行きの受注状況は前年を割り込んでいる。特に旅行代理店経由が苦戦しており、今後、回復する要素が少ない。
	□	住宅販売会社（代表取締役）	・土地価格や建築単価が高止まりしており、今後も建築相談が増えることは望めない。
▲	衣料品専門店（経営者）	・円安と物価高の一方、賃金は変わらずといった景気の悪いニュースが多く、国民に儉約する意識があるのではないかと。	
▲	乗用車販売店（営業担当）	・来年5月には車両生産で後方撮影ができるドライブレコーダーやバックカメラの設置も義務付けられており、その対応で生産に遅れが出る可能性がある。	
▲	一般レストラン（代表者）	・1～2月は来客ペースが落ちるため、3月の歓送迎会シーズンに期待している。	

	×	—	—
企業 動向 関連	◎	—	—
(沖縄)	○	食料品製造業（役員）	・来年も賃上げや、円高傾向への変化など経済環境に明るい材料が多いため、これまで以上に景気が良くなると期待も込めている。
	○	窯業土石業（取締役）	・生産量は多少増加傾向にあり、3か月後は若干の売上増加が見込まれる。
	□	建設業（経営者）	・引き合いはあるが、具体的な進展はない。
	□	広告代理店（営業担当）	・入城観光客数の増加により県内企業の売上は上昇傾向にあるものの、人件費や原材料の価格高騰の影響により販売促進予算は厳しい状況にある。
	□	会計事務所（所長）	・増税やその他物価高の影響があるとみている。
	▲	—	—
	×	—	—
雇用 関連	◎	人材派遣会社（経営者）	・派遣企業先々の状況や、周りの企業からは、前向きな取組の話が多く、派遣需要は更に伸びると期待している。
(沖縄)	○	求人情報誌製作会社（営業）	・年明け以降3月にかけて求人数は増加すると予測している。前年、前々年は10%強の増加があった。それを超える増加率でない、来年の求人数全体が前年、前々年を割る可能性も出てきている。
	○	職業安定所（職員）	・求人票に記載される賃金が上昇している。企業の賃上げが進んでいる。
	○	学校〔専門学校〕（就職担当）	・全国的に人手不足ということもあり、首都圏で採用が厳しい企業が地方への採用へ、中途採用のみだった企業が新卒採用へ幅を広げている状況がある。現在年明けの学内説明会も多くセッティングできており、それらの企業は求人依頼が確定している。
	□	人材派遣会社（総務担当）	・正社員や直接雇用等の雇用形態の変化によって、求職者の動きが変わらないとみている。
	□	学校〔大学〕（就職支援担当）	・年末年始が過ぎれば、変わらない物価高が購買意欲を遮るとみている。
	▲	—	—
	×	—	—